

七人の大天使の言葉

我ら七人の天使は、主の使いにより、何億年もの昔より、多くの魂をユートピアなるものへ導きたり。

我らの力ひとつにして大きな力なり。

我らの父、力の直系、我らの主であるエル・ランティーより大いなる慈悲と愛の力を分け与えられん。

我らの中心となるミカエルは、何億年前の昔より、我らを主の道へ導きたり。

我らの仕組み、エル・ランティーよりミカエルに伝達されるものなり。

七大天使がひとつになりしとき、眞のユートピアが実現せるものなり。眞に調和せる姿が天上界の仕組みなり。

我らの仲間、それぞれ役目あり。

我らの力、ユートピアを築かんがための眞の調和されたる国原(仏国土)を育成すべき仕組みなり。

我らは直接、主の命を受けし天使にして、人は多く神と同一視されたり。

我らは多くの時を経て、主を信じ、法を信じ、多くの民を信じきたりし天使なり。

智慧となるべきは指導者の必要条件にして、さらに勇氣と努力、行動力を具備すべきなり。

イエス、ブッタ、モーゼは、エル・ランティーの光の一部なり。

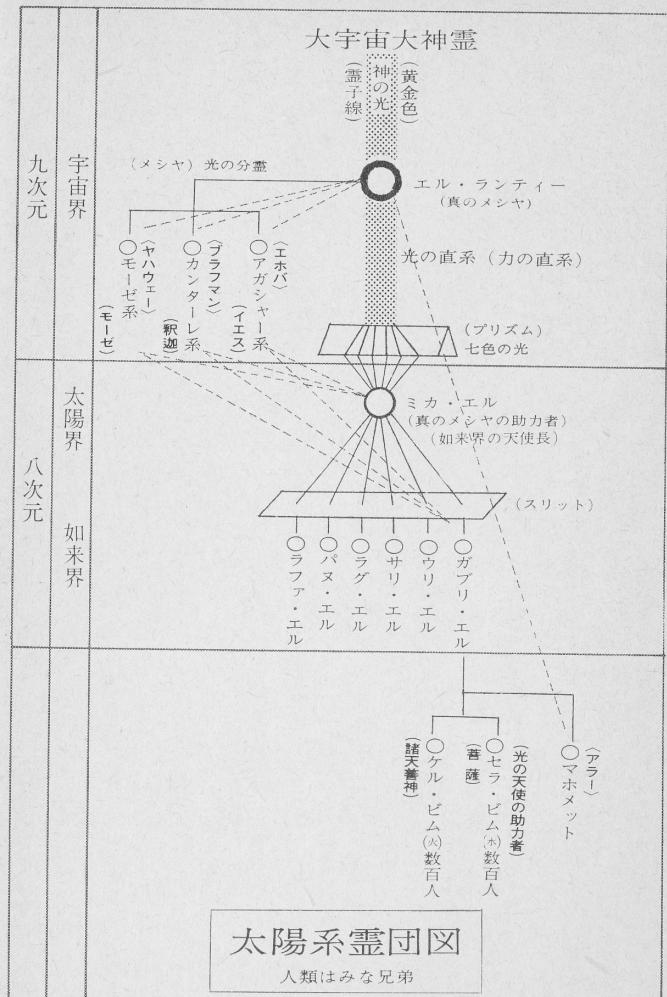
我らが苦しみたるとき、主もまた苦しまれたり。我らは主の御前に座すものなり。

我らは大木の元に住みしアブラハムの前に現われしときも、多くの民を救いたり。

我らは天上の世界においては、主の御前にあれど、いつたん地球上に肉体を持ちしときは、一般の人間とひとしくなれり。

我らは直接、主の命を受けし天使にして、人は多く神と同一視されたり。

我らは多くの時を経て、主を信じ、法を信じ、多くの民を信じきたりし天使なり。



太陽系靈団図
人類はみな兄弟

主の言魂、主の書かれし書籍は、すべて光に包まれ、眞のメシヤなる実証として、地上界の法人（正法者）はやがて眞実を語るときが来たらん。我らは常に主の側にあり。

かつて、イエズス、地上界にありしとき、「我がユダヤの民を頼む」がユダヤの民を頼む」と、私ミカエルに申されたり。

人類草創期の歴史

いま、我らのなかに悟らん者あり。

我らこの地上界に誕生したるとき、この地上界は光明一色に満たされ、天上の世界と一体なり。我らの心、光明に満たされ、肉の身そのままで天界に行かん。

我らのからだ、光と合一なれば、光と肉体の別なきものなればなり。

また、いついかなるときも、肉体と魂を一分せり。

ゆえに、心まとどわらず、眞の己、失うことあるまじき。

第二軍の円盤、地球の空をおおい、多くの天使、舞いおりたり。

我らより数年あとのことなり。

・パワー・トロンにコントラクトせり。

神体なるがゆえに、神の光なり。

我は、光なり。

魂は、光なり。

すべてが光一筋に統一されるとき、眞のユートピア

アが展かれん。

民の心、光に向い、光は神の力となつて、人びとを豊かに包まん。

すべてはコスマの法則なり。

いまより数億年前。

我らはこの地上界に居を構えたり。

地球は黄金色の光に満ちあふれ、太陽と緑の天界を現出していたものなり。

人の心は慈悲と愛に調和され、心の王国は、そのまま神仏一如の姿なり。

しかるに、エデンの園より離れたる民は、己を忘れ、神との絆を断ちたるなり。

これにより、人の心に明暗と亀裂が生じ、光の世界に、段階と、さまざま層とを創り出せり。すなわち、天国と地獄は、このようにして、すべて、地上界に出世せる肉体を持ちし人びとの、心

の所産なり。

かくして、意識界に、二つの世界生ぜん。

それ自然の法則にして、神の心に非ず。

眞のメシヤが降臨したるとき、多くの光の天使、天上の世界より人の心に光を送り、神理と安らぎの道を見出せん。

地獄に呻吟せる諸人の魂もこのとき救われん。

天上の光、四方に放ち、清淨の鐘、雲上に鳴り響く。

救済の扉、ここに開かれたり。
メシヤの力により、多くの民、己を知り、神性を自覚し、天上の世界と心が通じたり。

法を悟り、道を行ずる民の光は、この地上界に満ち満ちたり。

地獄界は、光をとざしたる世界なり。

しかれども、彼らもまた神の子なり。

現象界に身を置き、神理の法を依りどころとして生生活せる行人（正法者）を見て、彼らは、己の過失を悟らん。

地獄にも段階あり。

現象界に近き、あやまち薄き人は、肉体子孫の調和の姿を見て、己の罪を悟るものなり。

地獄に深く墮ちたる者は、その上の地獄界より悟りし者の喜びを見て、彼らもまた救いの道を歩まん。

地上の光は、天上的光。

天上の光は、人類の祖であり、主であるエル・ランティーの栄光にして、その大いなる光によつて、人は生かされ、神の王国に導かれん。

地獄は暗黒にして、無明の世界なり。

眞実に眼をふさぎ、自らの不調和な心が生み出しある世界なり。

物に溺れ、欲望に揺れたるその心が、神の光をとざしたるものなり。

しかれども、いま、彼らにも救いの道が開かれたる。

エル・ランティーの大光によって、地獄にも光明が放たれ、救いのかけ橋が架けられたり。

サタンからの通信

黄金の翼を持つた天使よ、

我は実存せる魔界の帝王なり。

我はそなたらの正法に阻まれず、我思うところに、我あり。

前途をはばむ者は、すべて抹殺せん。

そなたらの生命は、我が手にあり。

この地上界より抹殺せんことを、今、そなたらに通告する。

我がこの現象界において、そなたミカエルと戦いしどき、予期に反して敗北し、爾来、そなたへのうらみ、つのるばかり。

そなたが転生を繰り返し、エル・ランティーの命をうけ、この地上に生まれたる時は、我はそなたに苦しみを与える。

我らは、すべての時を超え、そなたを、いつの日か暗黒の我らの世界へ誘わん。

暗黒は、我らが安住の世界にして、我が母なり。

人として地上に生れたる者、弱きものなり。

我らの願いは、人の恐怖心なり。

恐怖は、己を忘れ、迷いを生むものなり。

我らの生命、そこにあり。人が墓穴を掘り、右往左往するとき、至上の喜び我をつつむ。

暗黒の星、それは我なり。

すべての者、我が命に服せり。

我らは、所在なき、魔神なり。

暗黒に君臨せる偉大なるサタン、そは、我の名なり。

我が手下は多く、我にかしづく。

次元に左右されず、我らは、どこへなりとも姿を見せん。

地上界は、我の思うままの世界にして、人間は、

我的下僕なり。

物に溺れ、金に迷い、情欲に流され、地位、名譽

にとらわれる。

これこそ、我が意中にあって、我らの思うところなり。

我らの頭上に榮光あれ。

我らは、眞の強者であり、力であり、力は常に、勝利する。

勝利のために、愛は無用なり。

慈悲を施す者は、反逆なり。

我らは、思うままで、そなたらの心の中に忍び入り、我が思いを果たさん。

我らの体、動物より与えられ、ゆえに、強く、激しく、本能的に動くものなり。

眞の強者は、情無用であり、獸の姿なり。

戦い、そして戦い抜いて、それに勝利したる者が

眞の王者であり、支配者なり。

反抗せる分子は、問答無用にして、抹殺すべきものなり。

我らの思想、赤い國に君臨せり。

我、思うままに支配せり。

そなたの思うままには、我らはさせじ。

我らは、眞の帝王なればなり。

我らを憎み、我らをのけ者にし、我らをいみ嫌う、黄金に輝くそなたたちよ。

我らは、そなたちと同じ意識を持つ者なり。

我らは、そなたたちと同じ、魔の使者なり。

我らの仲間、我らを含めて、七人の魔の使者あり。

「サタンからの通信」にみるようすにサタン

は、私たちにこのように通告して來た。しかし、恐れるものは何もない。なぜなら、心を

常に調和させ、慈悲と愛の心で行為するなら、彼らの忍び入る機会はないからである。

法の前に、魔は跳梁する。正しき法が地上に満つると、彼らの生活は断たれるからだ。

しかし、我らの世界は、そなたの世界の極に位置し、君臨する。

同じ型の、逆ピラミッドがその世界なり。

その頂点に、我あり。

人は、魔の法に、魂を売り安し。

これ、すべて、魔神の大慈悲なればなり。

我らが正しきこと、いつの日か実証せるとき来た

らん。その時、そなたは驚き、仰天し、我らに服するものなり。

必ず、必ず、その時を得ん。

そのとき、そなたら、我的下僕とならん。

ゆえに、法を求め、調和に心が向うとき、魔は、手をかえ、品をかえて、人の心を誘惑し、そして、脅迫しよう。

誘惑と脅迫から自己を守るために、大慈悲の神を信じ、愛の防壁によつて道に通ずるしか法のないことを知るべきである。

第二巻・第四巻ができました

「三宝力セット・調和をつくる生活シリーズ」は、あらたに第三巻「心とその働き」第四巻「五官と煩惱」ができあがりました。第一巻、

第二巻につづき、内容はいよいよすばらしく、正法を学び実践するのに欠かせないカセットです。どうぞ早目にお申込みください。

この「三宝力セット」は、生活に直接、間接的に関連のある問題をテーマ別に整理し、十のテーマを組み、各人が自由に研修できるよう、教育テープを作成することになったのです。吹込みは高橋一栄、高橋典和、堀田和成、高橋武の諸先生方です。

このカセットテープは、地区座、班座、あるいは主婦の方が、家事をしながらでも、正法をこまかく

勉強できますので、必ずお役に立つと思います。ぜひとも一家庭に一セットお備えくださることを希望します。

音楽の内容 カセットテープは片面三十分、A B両面で一時間です。一巻につきひとつ制作マになっています。

テープは毎月一、三巻ずつ製作の予定です。①八正道のとらい方 ②生活と反省 以後、③心とその働き ④五官と煩惱（以上既刊）⑤調和と妥協 ⑥運不運 ⑦仕事と人生 ⑧愛と人生 ⑨反省・その具体例 ⑩みんなで歌おう（GLA愛唱歌集）と統いてゆく予定です。

お申し込みについて

▼領布価格は一巻につき千四百円。送料は一巻につき二百円、二巻だと三百円です。

なお一セットの予約申込みは締切りました。今後は各巻ごとにお買求めください。

▼お申込込みは、GLA総合本部、および各本部、支部で受付けております。